

令和2年度 益田翔陽高等学校教育経営方針

◎ 今年度の重点目標

(1) 「凡事徹底」「下学上達」

- ☆「凡事徹底」 ・ 当たり前のことを当たり前に行うだけでなく、当たり前のことを他人の追従を許さないほど極めること
- ☆「下学上達」 ・ 身近な簡単なことから学び始めて、次第に進歩向上していくように常に自分を高めていくこと

(2) 高校魅力化コンソーシアムの構築

- ① 魅力ある学校作り ・ 教職員、生徒、保護者、市町村、小中学校、大学、社会教育機関、地元企業、地域住民・民間企業団体等の多様な主体が参画
- ② 広報活動の推進 ・ ホームページによる情報発信
・ 各分掌・学科・部活動・諸活動等の積極的な広報
- ③ 情報メディアの活用 ・ 新聞・TV等への情報提供 ⇒ 情報発信

(3) 授業改善の推進

- ① 「翔陽スタンダード」の完成・目標(めあて)一流れ一振り返り(まとめ)の提示と工夫
- ② 基礎学力の養成 ・ 各種資格検定試験への積極的な取り組み及び新聞の活用
・ 漢字テスト、漢字検定・英語リスニング検定への挑戦
- ③ **公開授業・研究授業の充実** ・ ICT機器の利用も含めた授業改善の検証・評価及び思考力・判断力・表現力の評価の工夫

(4) 進路指導の充実

- ① 進路検討会の実践 ・ 学年会と連携を図り、各学年・各学科ごとに実施
- ② 生徒・保護者面談の充実 ・ 面談時間の確保の検討・実施
- ③ 生徒支援初動会議の推進 ・ 全職員による生徒情報の共有化と相談体制の充実

◎ 教職員の皆さんにお願いしたいこと

(1) 生徒の安全・安心の保障を最優先で考える教員であってほしい。

- ①計画を綿密に ②活動枠の設定を周知・徹底 ③PDCAサイクルの評価

(2) 生徒の可能性に線を引くことなく、生徒の自己肯定感、自己有用感が高まり、集团的所属感や自尊感情が醸成するための声かけや仕掛けが積極的に実践できる教員であってほしい。

- ① 自己表現のできる環境づくり ② 認める・勇気づける・叱咤激励
- ③ 情報共有・行動連携

(3) 今年度も、まずもって教員自身が「凡事徹底」「日々改善」を示してもらいたい。

◎ 生徒の皆さんにお願いしたいこと

(1) 「凡事徹底」「下学上達」・・・自分の可能性に線を引かず、汗をかき、考え抜き、すぐにあきらめずに挑戦する強い意志を持ち続けること

(2) 「時を守り 場を清め 礼を正す」の精神を持ち続けること

- ☆「時を守り」・・・他人の時間だけでなく、自分の時間も大切にすること
- ☆「場を清め」・・・心を込めて清掃活動・整理整頓に努めること
- ☆「礼を正す」・・・気持ちのこもった挨拶を行うこと

(3) 「思いやり」のムードを学校文化に

- ・・・常に相手の立場・気持ちを思いやって行動すること